

# 3月 Library news

三寒四温を繰り返しながら春が近づいてきました！  
春の訪れが待ち遠しいこの季節、新しい本に挑戦してみましよう！

## <委員のおすすめの本>



### <本の題名> 「最後のトリック」

深水黎一郎

「読者が犯人」というミステリー界最後の不可能トリックのアイデアを、二億円で買ってほしいスランプ中の作家のもとに、香坂誠一なる人物から届いた手紙。不信感を拭えない作家に男は、これは「命と引き換えにしても惜しくない」ほどのものだとか切々と訴えるのだが・・・ラストは驚愕必死！この本を閉じたときあなたは必ず「犯人は自分だ」と思うはず！？

1807 岡村 涼太郎

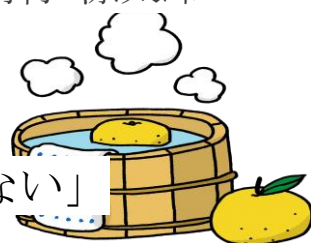
## <本の題名>

「まんがでわかるヒトは「いじめ」をやめられない」

中野信子

これまで「いじめを根絶しよう」といった理想は長く語られてきました。しかし、いじめに苦しみ、自死を選ぶ子供の悲しいニュースが後を絶ちません。この本はいじめが起こるメカニズムについて、脳科学的観点から解説されています。脳の性質やいじめという行動について科学的理解が深まることで、より有効なアプローチを切り出すことができると思います。ぜひ、読んでみてください。

1120 榛村 笑凜



## <本の題名>「アリアドネの声」

井上真偽

事故で、救えるはずだった兄を亡くした青年・ハルオは、贖罪の気持ちから災害救助用ドローンを扱うベンチャー企業に就職する。しかし、業務の一環で訪れた障がい者支援施設「WANOKUNI」で、巨大地震に遭遇。ほとんどの人間が避難する中、「見えない、聞こえない、話せない」という三つの障がいを抱え、街のアイドル（象徴）として活動する中川博美が一人取り残されてしまう。無音の闇を彷徨う要救助者の女性と、過去に囚われた青年。二人の暗闇に光は射すのか。

1717 兼子優大

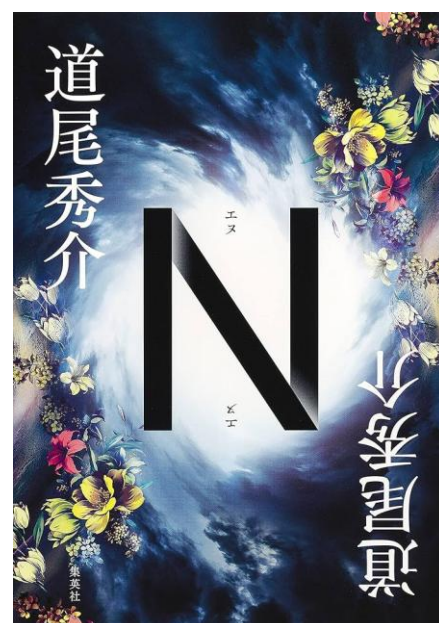


## <本の題名>「N」

道尾秀介

6!=720通りの読み方をすることができる本です。6つの短めのストーリーを好きな順番で読むことで物語が展開されていきます。この本の面白いところは、720通りの読み方を読者に楽しんでもらうために、各ストーリーでの物理的なつながりを断つ、つまり、上下が逆さまになっているのです。表紙やタイトルの文字、そして本の中身、全て上下逆さまにしても問題ない。そんな新しい小説です。皆さんも、自分で6つのストーリーの順番を組み替えて、お気に入りの物語を作ってみてください。

2402 足立比呂



春休み中、図書館は閉館しているので利用できません。4月には「先生方の推薦本コーナー」を設置する予定です。新学期が始まったらぜひ図書館に足を運んでください。詳しくは「静岡県立磐田南高等学校図書館」で検索してみてください。